

光本議員 1001 作成部局 都市整備局 No. 1

質問要旨 キョウチクトウは市内のどのような場所に、どのくらいの本数が植えられているのか。また、毒性がある花や葉、根や果実は容易に手にできる状況下にあるのか。

答弁要旨

キョウチクトウは公園などの公共施設や民間の住宅、工場など、市内の様々な場所に植えられております。

市内に植えられている総数は把握できていませんが、公園につきましては、約800本植えられています。

公園に植えられているキョウチクトウにつきましては、周辺に柵等が設置されている状況ではないことから、容易に手にできる状況下でございます。

以上

質問要旨 市ホームページを外国語で見ているユニーク
ユーザー数やアクセス数は。また、FMaiai の「AMAGA
SAKI TOWN GUIDE」がどれだけの方に聞かれてい
るか。

答弁要旨

市ホームページを外国語で見るため Google の自動
翻訳サービスにアクセスできるページのユニークユーザ
ー数は、直近の1年間で 1,462 人、アクセス数は 2,474
件です。

また、FMaiai の「AMAGASAKI TOWN GUIDE」につ
きましては、番組の聴取状況について調査していないため、
どれだけの方が聞かれているか把握できておりません。

以 上

光本議員 1003 作成部局 こども青少年局 No.1

質問要旨 住民税課税世帯の0から2歳児を無償化することはファミリー世帯の定住・転入促進に繋がるのでは。また、当該世帯の一部又は全部の無償化の計画は。

答弁要旨

本市の重点課題の一つである ファミ
リー世帯の定住・転入促進のためには、まずは、早期の待機児童解消を図る必要があり、現在、保育の量確保事業をはじめとする保育定員の確保策や、保育を担う人材確保のための施策を全力で進めているところです。

このため、多額の経費を要する、住民税課税世帯の0歳から2歳児の保育料の無償化に関する計画については考えておりません。

以上

質問要旨 副食費の無償化は、「ファミリー世帯の定住・転入促進」につながるのか。また副食費の無償化を対象者全員、または所得制限をかけて一部実施する考えはあるか。

答弁要旨

これまでも、給食費いわゆる食材料費のうち、主食費は保護者から基本的に実費徴収、副食費は保育料の一部として徴収してきております。無償化の実施時も、国の見解では、給食費は保護者が負担する考え方が維持され、無償化の対象外となっております。

このように新たに保護者の実費徴収を求めているものではございませんことから、年収360万円未満相当の世帯の副食費を除き、これを無償とするという考えはございません。

以上

質問要旨

「ちばレポ」のシステムを活用した「あまレポ」の導入が2年半前に見送られたが、新たなIT技術であるLINE@の危険個所等の通報システムを導入する考えはあるのか。また、導入にあたっての課題等があるのか。

答弁要旨

議員ご提案の「市民・住民が地域における課題を発見し、それを行政側にレポートすることで、市役所と課題を共有しながら解決していく」といった仕組みは、市政の透明化、情報発信、情報共有、協働意識の醸成等に有効な手段のひとつと考えており、道路・公園の即時対応が必要な課題解決のため、現在、

- ①市民からの危険個所等の情報収集方法。
 - ②これらの情報の市民への情報提供・見える化。
- について、検討を進めているところでございます。

(次ページへ続く)

今回ご提案の、「LINE@を用いた通報システム」についても、フェイクニュースや、正確でないあいまいな情報が含まれる等の課題は想定されますが、情報収集において有効な手段であると考えているため、まずは試行的に実施して検証を行ってまいりたいと考えております。

また、合わせて情報収集に関する取組みとして、明石市などで導入している、道路や公園の施設管理者が実施する講習を受講した方がモニターになって、危険箇所等を通報してもらうといった制度の導入を検討しているところであります。

こうした取組みにより、効率的な道路等の維持管理につなげていきたいと考えております。

以 上

質問要旨

厚生労働省が液体ミルクの製造を認可し、国内初の製品が発売されたことを受け、災害時の非常食として備蓄を行い始めた自治体もあるが、本市では液体ミルクを備蓄する考えはあるか。

答弁要旨

議員ご紹介の通り、液体ミルクは、取り扱いが簡単で、災害時の授乳の負担が軽減できることから、災害時に有用な物資と認識いたしております。

こうしたことから、物資の供給協定を締結している生活協同組合コープこうべ、イオンリテール株式会社、コストコホールセールジャパン株式会社の応援品目に液体ミルクを追加し、流通備蓄として供給する予定としております。

以上

質問要旨 認知症の方の万一の事故に備えた個人賠償責任保険について、どのような数値やデータを集めどのような観点で検討していくのか。また導入を判断する材料と要する期間はどうか。

答弁要旨

個人賠償責任保険につきましては、外部有識者や支援にかかわる専門職、民生児童委員や尼崎市認知症介護者の会などが参画する認知症施策推進会議において、本年4月から5回に渡り導入に向け検討を進めております。

会議においては、認知症高齢者の日常生活自立度などの介護保険データや認知症みんなで支えるSOSネットワークの登録実績、先行都市での実績などを踏まえて検討を行っております。

検討に際しては、認知症の方が、買い物や通院、余暇活動などの日常生活を住み慣れた地域で安心しておくことができる環境を如何に整えていくか、そのためにどのような施策が必要か、といった観点で、個人賠償責任保険とあわせて、その他の認知症施策も含め総合的に検討を進めているところであり、会議でのご意見を踏まえながら、本年度中に市として判断したいと考えております。 (以上)

光本議員 2001 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 本市ではキョウチクトウの分別方法等についてホームページに記載する予定はあるのか。

答弁要旨

宝塚市では、持ち込まれた植木ごみをチップ化や発酵させることによって活用しているため、品質管理の必要からキョウチクトウが混入しないよう注意喚起を行っております。

一方、本市では剪定枝類はすべてクリーンセンターで高温焼却処分しており、灰や煙に植物由来の毒性が残ることはないため、キョウチクトウの混入を制限する取扱いは行っておらず、特にホームページ等で注意喚起を行う予定はございません。

以上

質問要旨 キョウチクトウの毒性について周知徹底しつつ、これを機に伐採し、新しい市の花を選定してはどうか。

答弁要旨

キョウチクトウを直ちに伐採することは難しいことから、市のホームページ、市報、SNS等を活用して、キョウチクトウの毒性について、周知することから始めて参ります。

次に、新しい市の花を選定してはどうかというご提案ですが、キョウチクトウは、天災や戦災からの復興のシンボルとして昭和27年に市の花として制定された経緯があるため、現時点で、今すぐに市の花を新たに選定する考えはございません。

以上

質問要旨 外国語に翻訳された市ホームページから ID
検索ができるように改善する考えはあるか。

答弁要旨

ホームページにおける外国語の翻訳は、Google の無料自動翻訳サービスを利用しているため、ID 検索機能は活用できず、外国語に翻訳されたトップページから、見たい情報を自ら探していただく必要があります。

ID 検索ができるようにするには、ホームページ内に有料の翻訳機能を導入する必要がありますが、ID 検索のもととなる市報自体の多言語化ができていない現状においては、外国人の方の ID の活用にも課題があると考えております。

こうしたことから、ID 検索の翻訳機能導入を含め、外国人の方への分かりやすい市政情報の発信について、効果的な手法を検討して参ります。

以上

質問要旨 外国人居住者にも市政情報を届けるために市報あまがさきを多言語化すべきではないか。また、多言語化するためにどのような方法を考えているか。

答弁要旨

外国人居住者に対して市政情報を届けることは重要なことであると認識しており、市報あまがさきにつきましても多言語化していくことが望ましいものと考えております。

現在、観光担当部署において、先ほどご紹介のありました「カタログポケット」と同様の機能を備えたクラウド型も含めた多言語サービスアプリの今年度中の導入が検討されているところです。

市報あまがさきにつきましても、同アプリを活用し多言語での情報発信が可能になるよう検討してまいります。

以上

質問要旨 住民税課税世帯の0～2歳児の無償化や、副食費の全額負担が実施不可能という展望がある中、「ファミリー世帯の定住・転入促進」に繋がる特色ある施策は、今任期中どのようなものを考えているのか。

答弁要旨

本市では、「あまがさきで子どもを育てる人を増やす」をまちづくりの総合目標のひとつに掲げ、「ファミリー世帯の定住・転入促進」に向け、様々な課題に対し総合的に取り組んでおります。

しかしながら、施策評価の「まちの通信簿」で記載のとおり、「ファミリー世帯の転出超過数」は改善傾向にあるものの目標の達成には至っておらず、「学校教育」「子ども・子育て支援」に対する市民満足度も依然として低いことから、引き続き、学力の向上、子育て支援の充実などについて、(限られた^{財源}の中ではございますが優先順位をつけつつ、)効果的に取組を進めていく必要があると認識しており、令和2年度向けの予算編成方針においても、重点的に取り組む項目として^{位置付けている} ところ
です。
(次ページへ続く)

そうした中、今年度においては、スクール・サポート・スタッフの配置など、さらなる学力向上を目指す取組や、福祉・保健・教育など関係分野の有機的な連携のもと、総合的かつ継続的に子育て支援を実施する、「いくしあ」をはじめとする「あまがさき・ひと咲きプラザ」開設に向けた取組などを進めているところです。

今後におきましても、引き続き「教育施策」や「子育て施策」など、本市が抱える課題解決に取り組むほか、本市のイメージが大幅に改善しているこの機を捉えて「地域資源を活用した魅力創造・発信」に重点的に取り組み、まちの魅力を総合的に向上させるなど、「ファミリー世帯の定住・転入促進」に寄与する効果的・効率的な施策を展開してまいります。

以上

質問要旨

協定書に液体ミルクを盛り込むと同時に、災害時に国や事業者から支援物資が届くまでのセーフティーネットという位置づけで、避難所に液体ミルクを備蓄してはどうか。

備蓄が難しいということであれば、何が原因で液体ミルクの備蓄が難しいのか。

答弁要旨

液体ミルクにつきましては、国内製造解禁が昨年8月ということもあり一般市民の認知度がまだ低く、災害時の需要判断が現時点では難しいという課題がございます。

また、品質を保てる期間が短い、アレルギー対応の商品がないなどの課題もあることから、まずは、流通備蓄として対応することといたしました。

以上

質問要旨

避難所に液体ミルクを備蓄し、期限切れが近づけば子育て世代に試飲用として配って啓発活動を行う観点も持って、備蓄してはどうか。

答弁要旨

液体ミルクに関しましては、現時点では認知度はもちろん、消費者の使用意向も高い状況にないと考えていたところではあります。

しかしながら、最近の報道によりますと、大手コンビニが取り扱いを開始しており、今後、急速に普及が進むことが想定されます。

先ほどもご答弁いたしましたとおり、本市としましても液体ミルクが災害時に有用な物資であることは認識しておりますので、まずは流通備蓄として導入することとしたものでございます。

なお、液体ミルクの国内製造解禁が昨年8月とまだ期間が短いことから、今後の認知度や需要数の高まりなど、その実態把握に努め、避難所への備蓄の配置について時勢に応じた判断をしてまいりたいと考えております。

以上